

総合防災訓練の実施について

平成16年8月26日

- JR東日本では、総合防災訓練を9月1日の「防災の日」に実施します。
- 今回の防災訓練は震度6強の大地震が発生したとの想定で、救助救命活動に関する訓練を本社、支社、現業機関が連携し実施します。
- 訓練は以下の内容を中心に、参加者約15,000名の規模で実施します。
 - ・ 本社及び各支社等における対策本部運営訓練
 - ・ 各地区における実働訓練（救助救命訓練、避難誘導訓練、初期消火訓練等）
 - ・ 社員及びその家族の安否確認訓練
- また、政府や自治体等と連携して行う訓練にも参加します。

訓練は以下の要領で行います。

1 日 時

平成16年9月1日（水） 7時00分～12時30分（予定）

2 訓練の想定

東京圏については、「7：00に東京直下を震源とする震度6強の地震が発生し、東京支社ビルは機能しているが、駅舎の崩壊、列車の脱線等の被害により、多数の死傷者が発生した。」との想定で訓練を行なう。地方支社においては、各支社管内での大地震発生を想定した訓練を行なう。

3 主な訓練内容

本社対策本部の設置・運営訓練

本社対策本部運営訓練は以下の流れで実施する。

- ・ 発災直後は、まず高崎支社ビルに本社対策本部を設置し運営する。
- ・ 本社対策本部要員は本社対策本部が設置される東京支社ビル（田端）に非常参集する。参集後、対策本部の情報機器の設営を行なう。
- ・ 設営完了後、高崎支社ビルから東京支社ビルに本社対策本部を引継ぎ、運営訓練を行なう。
- ・ 運営訓練は、情報連絡拠点と本社対策本部で衛星回線を含めた災害時の専用回線を使用し、被災状況の情報伝達や救助派遣指示等を行う。またヘリコプターにより被災状況を調査し本社対策本部への連絡も行う。

安否確認訓練

「災害伝言ダイヤル171」を活用する等により、連絡のとれない社員と職場との安否の確認や、社員と家族との安否確認訓練を行う。また本年1月より運用が開始された「モード災害用伝言板」の周知も行なう。

非常参集訓練

本社、支社、現業機関の社員が最寄り駅など予め指定された箇所へ徒歩等で非常参集を行う。

救助救命等の実働訓練

非常参集した社員を被災現場に派遣し、お客様の避難誘導、救助救命、初期消火等の実働訓練を行う。訓練にあたっては、警察、消防等の関係部外機関や協力会社と連携し行う。

自衛隊ヘリコプターを活用した医療チームの輸送訓練

自衛隊の協力のもと、ヘリコプターによる医療チーム（直営医療機関の医師と看護師）の輸送訓練を行う。

新幹線大宮仮指令所の設置・運営訓練

新幹線の総合指令所が使用不能となった場合を想定して、大宮仮指令所を設置し新幹線の被災状況の把握を行なう。

4 主な訓練の実施箇所とスケジュール（別紙）

災害対策本部の運営訓練

- ・ 高崎支社ビルに設置される本社対策本部 (7時～9時30分頃)
 - ・ 東京支社ビルに設置される本社対策本部 (9時30分～12時30分頃)
- #### 救助救命等の実働訓練
- ・ 品川駅等（10箇所） (10時～12時頃)

平成16年度総合防災訓練の主な実施箇所

支社等	実施場所	日時	参加数	訓練内容
東京	品川駅	9/1(水) 10:00～12:30	約260人	駅舎崩壊および車両脱線により、多数の負傷者が発生したという想定で、現地対策本部を設置し、通報、初期消火、負傷者の救助救出、旅客誘導、応急救護等の訓練を実施する。
横浜	横浜駅	9/1(水) 8:30～10:00	約350人	震度6強の地震が発生したとの想定で、横浜市・各鉄道事業者・駅ビル等と合同での訓練を実施する。横浜市災害対策本部と防災行政用無線を活用した情報伝達訓練や、各鉄道会社、駅ビルとの情報伝達、多数のお客様を広域避難場所へ誘導する訓練等を実施する。(参加数は当社外も含む訓練全体数)
八王子	府中本町駅	9/1(水) 9:30～15:00	約75人	大地震発生により列車内及び駅舎内でお客さまが負傷したとの想定で、油圧ジャッキ等による手作業での救助救命訓練のほか、応急救護、初期消火、駅の通報訓練、消防署への引継ぎ訓練を実施する。
大宮	大宮駅	9/1(水) 10:00～12:00	約130人	震度6強の直下型地震が発生し埼京線地下ホーム到着の列車に火災発生、車内のお客さまが多数負傷したという想定で、現地対策本部を設置し、通報、初期消火、旅客救出、避難誘導訓練を実施する。
高崎	支社ビル 事故対策室	9/1(水) 7:00～10:00	約90人	東京直下震度6強の地震発生を想定し、緊急対策本部、本社対策本部を設置し首都圏の被災状況を把握、東京支社ビルに設置される本社対策本部への引継ぎ訓練を実施する。
水戸	水戸駅構内	9/1(水) 7:00～11:30	約50人	大地震発生のため、駅舎内の階段の一部が崩壊負傷者が発生、また進入してきた列車がかさ石に衝撃負傷者がでている設定で救助救命、避難誘導等の訓練を実施する。
千葉	千葉駅	9/1(水) 9:10～10:00	約100人	震度6強の地震が発生し、駅舎の一部が倒壊したことを想定し、千葉駅において千葉駅ビル(ペリエ)社員や千葉駅構内営業社員と合同でお客さまの避難誘導、救助訓練等を実施する。
仙台	仙台レールセンター	9/1(水) 9:20～11:30	約100人	宮城県沖で震度6弱の地震が発生し、列車が脱線したとの想定で、クレーン車を使用した脱線車両の復旧訓練を行う。また脱線した列車に乗車中のお客様にけが人が発生したとの想定で、お客様の救出救助等を実施する。
盛岡	盛岡駅	9/1(水) 7:00～12:00	約100人	三陸沖で震度6強の地震が発生し、駅舎の一部倒壊等の被害が発生したとの想定で、駅舎で負傷されたお客さまの安全な場所までの救助救命訓練及びエレベーターに閉じ込められた社員の救助訓練等を実施する。
秋田	横手駅	9/1(水) 7:00～12:00	約50人	秋田県内陸南部を震源とする震度6強の地震が発生し、横手駅にて駅舎倒壊、列車脱線が発生したとの想定で、お客様の救助救命と避難誘導、初期消火、現地対策本部の設置、自治体への情報伝達訓練を実施する。

【別紙】

新潟	長岡駅構内	9/1(水) 9:00～11:00	約50人	長岡市で震度6強の地震が発生したとの想定で、現地対策本部と支社災害対策本部が衛星携帯電話を使用して情報伝達訓練を行うほか、現地においてお客さま救護と誘導訓練、初期消火訓練を実施する。
長野	長野・松本 上諏訪・飯山 中込・信濃大町 の各拠点駅	9/1(水) 9:00～11:00	約250人	拠点駅6箇所を中心に震度6弱以上の地震が発生したとの想定で、社員・家族の安否確認訓練、非常参集訓練、支社対策本部・現地対策本部設置訓練、支社対策本部と現地対策本部との情報伝達訓練、お客さまの避難誘導、救命救護訓練等を実施する。